

学校法人 名古屋電気学園

創立100周年 記念コンサート

名古屋フィルハーモニー交響楽団
愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部

2012年10月26日(金)
愛知県芸術劇場コンサートホール

ご挨拶



学校法人名古屋電気学園

理事長 後藤 淳

学校法人名古屋電気学園は、1912年(大正元年)に名古屋電気学校をスタートさせてから本年で100年となります。創立者の後藤喬三郎先生が、工業化社会の到来とそのエネルギー源としての電気を予見して、地元産業界の支援を得て技術者の養成を目的に開設したことに始まります。技術面だけでなく、学

園の掲げる豊かな人間性の育成という面から教養の分野にも力を入れ、音楽も古くから教育の場に採り入れてきました。

愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部は創部してから57年を数え、部員も130人を超え、大勢のOBが社会に出て、各分野で活躍しています。半世紀近い歴史を有し、音楽界で高い評価を得ている名古屋フィルハーモニー交響楽団と学園のお付き合いは公私にわたり長く、記念コンサートのお話をしましたところ、「喜んで協力、参加しましょう」と出演していただくことになりました。学園創立100周年記念事業として極めて意義あることであり、感謝の念にたえません。

本日は、名古屋フィルハーモニー交響楽団と愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部による素晴らしい演奏をご堪能いただき、明日への糧にしていただければ幸いです。

学園歌

作詞：久徳高文
作曲：渡辺宙明

一、瑞若の丘のほとり
慕ひ寄る学びの窓べ
眉も高く瞳を放てば
国原の遠きゆくて
さやかなる理想はかかる
あ、空よ空よ光れ
われら翔らむ

二、八千草の生命の花
底ごもる力にひらき
友のなさけ豊に薫れり
たづさえて競うここに
あたらしき文化は興る
あ、風よ風よ騰れ
われら泳みむ

三、清らなる知恵の泉
くめど尽きぬ深さに溢れ
燃ゆる心静かに涵して
たゆむなきあしたゆうべ
仰ぎ望む真理はきびし
あ、道よ道よ徹れ
われら進まむ

プログラム

I部

愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部

指揮 伊藤 宏樹

1. 名古屋電気学園歌

作曲は渡辺宙明。主にテレビやドラマ、特撮の分野で活躍する。作詞は国文学者の久徳高文。古典の分野で多くの論文を残した。1954年（昭和29年）に完成し、式典など学園行事で歌われている。

2. D. ショスタコーヴィチ：祝典序曲

20世紀を代表する旧ソビエトの作曲家ドミトリ・ショスタコーヴィチ（1906-1975）の華やかなオーケストラ作品。現在では、1965年に出版されたドナルド・ハンスパーガー編曲による吹奏楽編曲版が演奏される。本日は100周年の記念として、この難曲を同校が演奏する。

II部

名古屋フィルハーモニー交響楽団

指揮 大井 剛史

1. M. グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

ロシア国民楽派の始祖ミハイル・グリンカ(1804-1857)が、文豪プーシキンの詩をもとに作ったオペラ。古代ロシアのキエフ公国が舞台で、悪魔にさらわれた大公の娘リュドミラを若き騎士ルスランが救出し、結ばれるという物語。

2. J. シベリウス：「カレリア」組曲

フィンランドの国民的作曲家ジャン・シベリウス(1865-1957)は、26歳の時に結婚し、新婚旅行で祖国の伝説や民族音楽の宝庫であるカレリア地方(現在はロシア領)に赴き、民族意識に目覚める。翌年、この地の学生団体からカレリア地方の歴史を題材とした野外劇の音楽の作曲を依頼され、その音楽から3曲を選んだのがこの組曲。

3. E. エルガー：行進曲「威風堂々」第1番

エドワード・エルガー(1857-1934)は、作曲は独学で若いころはヴァイオリン教師として生計を立てていたが、徐々に作品の評価が高まり、ついには英国を代表する大作曲家としての名声を確立した。「威風堂々」は全5曲からなる軍隊行進曲のセットで、第1番が最も有名。中間部の優雅なメロディーは『希望と栄光の国』という合唱曲にもなった。

III部

名古屋フィルハーモニー交響楽団
愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部

指揮 大井 剛史

1. 鈴木 英史：祝典前奏曲「夢は遙かなる星へ」(初演)

～名古屋電気学園創立100周年を祝って～

1912年から2012年、地球、自然、環境、社会、生活、文化(音楽)全てが、激動のこの100年。時流に揉まれて発展してきた名古屋電気学園の100年の歩みに倣って、希望への道のりを、同校学園歌・校歌の旋律を元に歌い上げる、管弦楽と吹奏楽の交唱による「賛歌」である。題名も校歌の一節から採った。

2. G. ヴェルディ：歌劇「アイーダ」より 凱進行進曲

『アイーダ』は、イタリア最高のオペラ作曲家ジュゼッペ・ヴェルディ(1813-1901)屈指の人気オペラ。スエズ運河開通記念として委嘱されたため、古代エジプトを題材にしている。「凱進行進曲」は、エジプトの若き將軍ラダメスがエチオピアとの戦争に勝利し、多くの捕虜と戦利品を持って故国に帰還する場面の音楽。本日のバージョンは、アイーダトランペット(愛工大名電高等学校吹奏楽部)を使用。

3. P. I. チャイコフスキー：大序曲「1812年」

1812年、ナポレオン率いる60万のフランス軍がモスクワに攻め入るが、ロシア軍の猛反撃に、厳しい冬の到来と食糧不足が重なり、フランス軍は大敗北を喫する。この戦いと勝利を描写したのが大序曲『1812年』。フランス国歌「ラ・マルセイーズ」がだんだん勢いをなくし、最後はロシア国歌が高らかに奏され、教会の鐘が打ち鳴らされる。

プロフィール

名古屋フィルハーモニー交響楽団

1966年に創立。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年3月より公益財団法人となる。これまでに4回の海外ツアーを実施、各地で絶賛される。特に2004年の「ブラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3カ国ツアーは大成功を収めている。東海テレビ文化賞、愛知県芸術文化選奨文化賞、文化庁芸術作品賞などを受賞。2013年3月に節目となる第400回目をマラー「交響曲第3番」で迎える定期演奏会を中心に、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」や、障害のある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間120回の演奏会を行なっている。2013年4月より、マーティン・ブラビンスが第8代常任指揮者に就任することが決定。多彩なレパートリーを誇る英国の実力派指揮者の就任に、全国から高い注目と期待が集まっている。



指揮 大井 剛史

東京芸術大学および大学院にて松尾葉子氏に師事、故若杉弘、故岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメツティ、カラブチェフスキーの各氏から指導を受ける。2007～09年3月までチェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。09年、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉常任指揮者、山形交響楽団指揮者(2013年から正指揮者)に就任。国内の主要なオーケストラを指揮し、いずれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や吹奏楽の指揮をするほか、オペラ、バレエの分野でも大好評を博し、幅広い分野で意欲的に活動している。2008年、アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクール第2位。

愛知工業大学名電高等学校 教諭 指揮 伊藤 宏樹

エリザベト音楽大学器楽科(トランペット)卒業。トランペットをモリス・アンドレの愛弟子、山城宏樹に師事。三重県桑名市の三つの中学校(陽和、正徳、正和)に19年勤務。その間、全日本吹奏楽コンクール、全日本管楽器合奏コンテスト、全日本アンサンブルコンテストなどに出場。2001年、三重県知事より文化賞、桑名市長より教育賞を受賞。その他、子どものための管楽器教室やボランティア活動など地域向上のための活動を行なう。2003年、JBA最優秀指揮者賞を受賞。故松井郁雄先生の要請により2005年から愛知工業大学名電高等学校に音楽教諭として赴任、吹奏楽部の顧問となる。2010年、指導者DVDが発表される。2012年、全日本高校選抜吹奏楽団指揮者。各地区コンクールの審査員やクリニックの講師も多数行なう。愛知県吹奏楽連盟名古屋支部長を務める。



鈴木 英史 祝典前奏曲「夢は遥かなる星へ」作曲者

1991年東京芸術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。作曲を間宮芳生、遠藤雅夫、指揮を遠藤雅古の各氏に師事。1987年に安宅賞、2001年に第11回日本管打・吹奏楽アカデミー賞(作編曲部門)を受賞。国民体育大会('91年石川、'92年山形)式典音楽、国民文化祭創作音楽('02鳥取)等を担当。オーケストラからソロ、クラシックからポップスまでの作編曲活動を中心に、指揮、CD企画、講習、審査、音楽誌への執筆など幅広く活躍。日本音楽著作権協会正会員、日本管打・吹奏楽学会執行委員。主な作品に「ライブパリエーション」「カントウスリナーレ」「メリーウィドウ」「コウモリセレクション」「小鳥売り」「ロシアの皇太子」などがある。

愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部

創部57年の歴史を持ち「全日本吹奏楽コンクール」への出場35回は全国1位を誇る。昨年度は「全日本吹奏楽コンクール」と「全日本マーチングコンテスト」の二大全国大会において金賞を受賞し、創部以来の快挙を達成。この功績に対して私学協会から表彰を受ける。

今年度は、7月にスイスで行われた「Basel Tattoo 2012」に招待され10日間で15公演の演奏を行ない好評を博した。また、夏の甲子園では130人を超える全部員で応援演奏を行なった。毎年1月に行なう定期演奏会以外にも、世界的なイベントから学校行事、地域密着型のイベントのほか、音楽を通じたボランティア活動にも力を入れ、演奏規模の大小を問わず、常に音楽の素晴らしさを届けられるよう、部員一同、日々精進している。